



学校だより

令和6年6月吉日
上越市立有田小学校
校長 野田 晃

感動をとおして学ぶとき

「校長先生、来て！来て！」

手を引かれて学校畑まで行ってみると、まだ青いミニトマトが、小さく実っています。「大きくなったよ！」その子は、目を丸くして、にこにこ。青いミニトマトの実を人さし指で何度もつつきます。ポロっと取れそうで、「そっとだよ。あんまり触ると赤くなる前に取れてしまうよ。」と伝えました。鈴なりに花がたくさん咲いています。「たくさん、ミニトマトがなりそうだね。」と、その子に言うと、「きょとん」としています。そうなのです。花が咲いた後に実ができることを、まだよく分からないのです。詳しくその子に説明せず、「これから、どこに実がなるのか、よく見るんだよ。」と伝えました。その子が発見する楽しみを奪いたくないからです。

「校長先生、こっちにも来て！」

その子が育てているのは、オクラです。なかなか育ってくれなかったのですが、やっと最近、大きくなり始めてきました。うれしいのでしょうか。「アリがたくさんいるんだ。」と、その子。よく見えています。でも、葉の裏がどうなっているのか気付いていないようでした。葉の裏側を見てみると、ゴマ粒みたいなものがたくさん付いています。周りにいた子たちも、びっくりしていました。「これは、アブラムシ。葉を枯らすから退治しないとイケないんだよ。」「アリとアブラムシは仲良しなんだ。だから、アリがたくさんいるんだよ。」「アブラムシ退治の仕方を畑の先生に聞くといいね。」と話しました。もちろん、私もアブラムシ退治の仕方をいくつか知っています。でも、その場で教えませんでした。担任の先生に伝えたり、畑の先生に聞いたり、お家の人に尋ねたりすることが、大切な勉強だと思うからです。何より、大切な自分の苗を、自分で守り育てるために、考え、行動できた体験こそが、重要だと考えるからです。何でも教えてしまうと、自ら学ぶ意欲を奪ってしまうかもしれませんから。子どもの心に学びの火をつけたいものです。

1年生は、アサガオ。2年生は、野菜を育てています。毎日、自分の苗に水をあげています。水汲み場に並ぶ姿に感心します。割り込んだり、いじわるをしたりする子は一人もいません。みんな順番を守り、友達に優しく接しています。素晴らしいです。

アサガオはツルが出始めてきました。野菜もキュウリやピーマンが採れ始めてきました。毎日、世話をしてきました。自分の努力がしっかりと報われていることを実感しているのでしょうか。自分の苗が大きく育っている様子を見ながら水をあげる姿に、自信を感じます。しっかりと野菜を握りしめて、「採れた！」と笑顔で伝える姿に、大きな成長を感じます。

子どもたちが感動をとおして学んでいる姿、素晴らしいです。寄り添える幸せを感じます。

6月5日（水）の不審者対応、ありがとうございます。たくさんの保護者や地域の皆様から、登下校の見守りなど、迅速な対応をしていただきました。今後とも、子どもたちの命を守るために、安心・安全のために、ご支援、ご協力をお願いいたします。